

G空間情報センター

ニュースレター 第33号 2022年9月発行

【目次】

- [1. TOPICS「都市の三次元デジタルツイン環境を提供する「デジタルシティサービス」」](#)
- [2. 上位アクセス状況\(集計期間：2022.7.1-8.31\)](#)
- [3. 最新のお知らせ](#)
- [4. 【終了】【賞金総額 200 万円】まだ間に合う！ 地理空間情報ビジネスアイデアコンテスト](#)
- [5. 国土交通データプラットフォームにおけるデータ流通・利活用促進の取り組みについて](#)
- [6. 注目のコンテンツ紹介](#)

1. TOPICS「都市の三次元デジタルツイン環境を提供する「デジタルシティサービス」」



(一社) 社会基盤情報流通推進協議会
理事 岩崎秀司 (株)パスコ)

1. デジタルシティサービスの地方公共団体への普及

一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会（以下、AIGID）では、スマートシティ等、昨今の都市全体の高度管理に対するニーズを受け、リアルタイムなデジタルツイン環境を提供する「デジタルシティサービス」（以下、本サービス）を2020年より提供しています。

本サービスは、自治体の単位を基本とした各地域の多様なデータを、G空間情報センターと連動した形でWeb上で保管、管理するとともに、株式会社ゼンリンの提供するデータやProject PLATEAUで整備された3D地図上に公共施設・インフラ施設等の多様なデータの可視化等を一体的に行っていくものです。

2021年度には、約25の地方公共団体が参加する「デジタルスマートシティ研究会」を開催し、意見等を伺いながら、サービス導入・運用に関わる価格設定等（詳細は「[デジタルシティサービスの利用ページ](#)」を参照ください）を行ってきました。

2022年8月時点で、7団体に本サービスを利用いただいています。



図1 デジタルシティサービスの利用団体 (<https://www.digitalsmartcity.jp/links/>)

2. より良いサービスを目指して

AIGID では、2022 年度に、希望する自治体向けにサービスの試験運用を行いながら、実運用に向けて 3D マップの利活用方法や課題等を議論し、政策検討等へのデジタルツイン環境の有効活用に向けた方策等を整理しています。

また、本サービスを利用している富山県南砺市や静岡県裾野市で、住民や地域の企業が参加し、デジタルで成り立つ地域の未来を考える会として「デジタル南砺・裾野の輪」を開催しています。

裾野市では、地域の課題である「カーボンニュートラル」「公共交通」「富士山噴火」のワーキンググループを設置し、ボランティアや観光振興、農業など地域活動との連携強化を図りつつ、本サービスを活用した課題解決策を探る取組が進められています。

このように、自治体職員や地域の方々の皆様の意見を聞きながら、より良いサービス構築を目指して研究会を随時開催しています。

- ・ デジタル南砺の輪 : <https://www.digitalsmartcity.jp/nanto-city/>
- ・ デジタル裾野の輪 : <https://www.digitalsmartcity.jp/susono-city/>
- ・ 静岡新聞 (2022年7月3日付) : <https://www.at-s.com/sp/news/article/shizuoka/1088641.html>

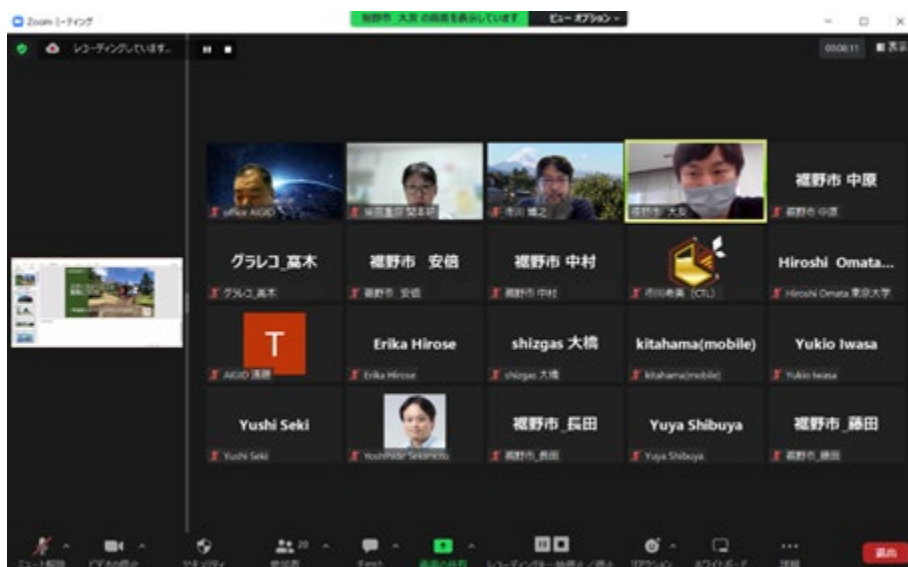


図2 オンライン会議によるデジタル裾野の輪の様子

3. デジタルシティサービスの展開

本サービスは、自治体と住民や地域企業等とが地域課題を共有しながらその解決を図るために有効です。今後も引き続き、地域の施策検討等に効果的で利用しやすいサービスを目指します。

本サービスの導入に興味のある自治体の方は、気軽にデジタルシティサービス事務局にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

デジタルシティサービス事務局 (cpod-info@aigid.jp)

2. 上位アクセス状況(集計期間：2022.7.1-8.31)

登録ユーザー数	12,546 名
期間アクセス数	403,420
登録組織数	592 件
データセット数	7,859 件
ファイル数	61,614 件

人気のデータセット

1	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区
2	3D 都市モデル (Project PLATEAU) ポータルサイト
3	全国の人流オープンデータ (1km メッシュ、市町村単位発地別)
4	静岡県 富士山南東部・伊豆東部 点群データ
5	静岡県中・西部 点群データ
6	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区 (FBX 2020 年度)
7	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 大阪市 (2020 年度)
8	静岡県 富士山および静岡東部 点群データ
9	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 横浜市 (2020 年度)
10	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 札幌市 (2020 年度)

3. 最新のお知らせ

G空間情報センターの最新のお知らせは[こちら](#)

最新のデータ公開情報は[こちら](#)

最新のイベントをいち早くキャッチしたい場合は、ぜひ Peatix でフォローをお願いします☆

G空間情報センターイベント最新情報は[こちら](#)からフォロー(Peatix)

4. 【終了】【賞金総額 200 万円】まだ間に合う！ 地理空間情報ビジネスアイデアコンテスト

内閣官房主催『イチ Biz アワード』

- ✓日本語ができれば誰でも応募 OK！
- ✓入賞者は企業コラボの可能性アリ！
- ✓必要なのは「提案アイデア」だけ！

◆募集要項は[こちら](#) (PDF)

◆[特設サイト](#) ◆[Twitter](#)

お気軽にどうぞ☆Zoomオンライン説明会

9/16(金)18:15-	9/21(水)18:15-
9/23(金)18:15-	9/28(水)18:15-

応募締切：9月30日(金) 18:00 まで

*当センター長 柴崎亮介先生も審査員！

*活用事例も同時募集！詳細は[こちら](#)

5. 国土交通データプラットフォームにおけるデータ流通・利活用促進の取り組みについて



ESRI ジャパン株式会社
プラットフォームソリューショングループ
櫻井 洋祐

1. 国土交通データプラットフォームの現状と課題

国土交通省大臣官房技術調査課では、国土交通に関わるデータの利活用を促進するためのデータ連携基盤「[国土交通データプラットフォーム](#)」の整備を進めており、2022年9月現在、ver. 2.1 を公開中です。

利用者はサイトの閲覧やデータのダウンロードが可能ですが、データの取り込みや加工などの準備に手間や時間を要し、利活用の際のハードルとなっています。また、他省庁システムにおいてAPI 経由でのデータ提供を進めているケースもありますが、API を利用した GIS システムへの実装には利用者側に高い IT スキルが求められます。

このような課題に対し、利用者（特に GIS ユーザー）がデータを簡単に利活用できる仕組みとして GIS Web サービス*が注目されています。この気運の高まりを受け、国土交通省大臣官房技術調査課では、「[GIS コミュニティ利用実証ポータルサイト](#)（以下、実証サイト）」を試験的に公開し、国土交通省が保有する地理空間情報の利用促進に GIS Web サービスが有効か確認する実証を行っています。

※GIS Web サービスとは、GIS データや空間的な情報処理などをネットワーク経由で Web サービスとして提供する技術の総称です。



図1 国土交通データプラットフォーム 図2 GISコミュニティ利用実証ポータル画面

2. GIS コミュニティ利用実証ポータルサイト

今回構築された実証サイトには、弊社が提供するクラウド GIS サービス「[ArcGIS Online](#)」およびオープンデータサイト構築キット「[ArcGIS Hub](#)」が使用されています。特長の一つとして、本サイトの構築にあたりコーディングは一切行っておらず、メニューを選択するのみでさまざまな機能が提供可能なことが挙げられます。GIS ユーザーは、利用実証ポータルサイトを通じて、国土交通データプラットフォームの主要なデータの検索・閲覧、GIS Web サービスとしてのデータ利用およびダウンロード等ができます。



図3 利用実証ポータルサイトの利用イメージ

GIS Web サービスで GIS データが公開されることによるメリットは以下の通りです。

- (1)GIS データ全体を Web サービス連携で簡単に利用できる（上図の“GIS Web サービス”）
- (2)ArcGIS や QGIS などの GIS Web サービスに対応したソフトウェアが提供されており、GIS データ利用のための利用者側での開発が不要となる
- (3)GIS データの閲覧だけでなく解析等にも利用できる

加えて、GIS Web サービスでは、これまでのデータをダウンロードする方式では対応の難しかったリアルタイム性の高い動的なデータ（気象データ、センサーデータ等）も扱えるため、これまで以上にさまざまな分野での利用シーンが広がっていくと考えられます。

今回の利用実証において実施された GIS ユーザーやソリューションサービスプロバイダへのヒアリング調査でも、GIS Web サービスの必要性や利活用が容易になることへの期待が寄せられました。



図4 GIS Web サービスの利用イメージ

3. 海外の動向と今後に向けて

欧米では、政府機関が公開するデータカタログサイトとは独立した“ジオポータル”と呼ばれる、GIS データに特化したデータカタログサイトが公開されています。ジオポータルを運営している各国では、公的なデータカタログサイトのコンテンツ（メタデータ、エンドポイント等）をジオポータルに自動連携し、GIS Web サービスを含めた多様な提供方法をサポートすることで、官民に亘る地理空間情報の利活用促進が図られています。

日本でもこのような取り組みが進み、GIS データがより使いやすく活用されていく社会となるよう、弊社でも引き続き地理空間情報の流通に資する技術の提供や普及活動に努めて参ります。

<利用実証ポータルサイトに関する問い合わせ先>

[ESRI ジャパン株式会社 お問い合わせ窓口](#)

6. 注目のコンテンツ紹介

掛川城 点群データ



静岡県が提供している掛川城の地上レーザ測量による3次元点群データです。無償ソフトCloudCompareで表示しました。これ以外にも、静岡県はVIRTUAL SHIZUOKAと題し、航空レーザ測量(LP)および移動計測車両(MMS)により取得されたデータを公開しています。

対象データセットは[こちら](#)

過去のニュースレターアーカイブは[こちら](#)

G空間情報センターの使い方動画を公開中![You Tube](#)

ご意見・ご要望について

G空間情報センターは、高度な地理空間情報社会の実現と皆さまの事業の発展に寄与・貢献できることを目標としています。

当センターへのご要望、ご意見、ご助言等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。最後までお読みいただき、ありがとうございました。

G空間情報センターのユーザーアカウント登録は、[こちら](#)

G空間情報センターのご要望、ご意見は、[こちら](#)

一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会(AIGID)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-10-5 代々木伊藤ローヤルコーポ 304号室

メール: info@geospatial.jp

TEL: 03-6455-1845

※当ニュースレターの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。